

35

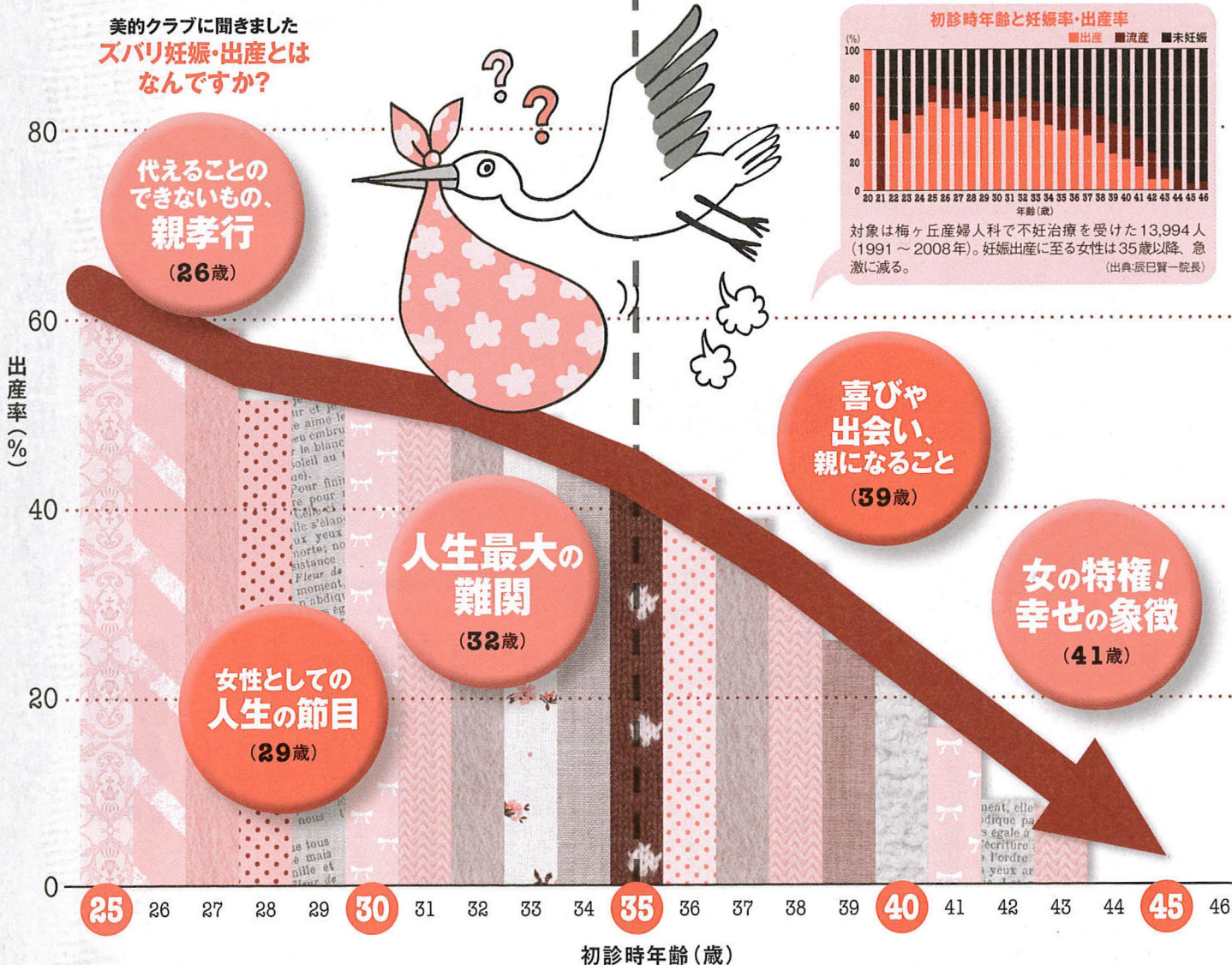
生理があっても油断大敵！ 卵の老化も加齢で加速！
だから、本気で考える——「産める私」の作り方

歳の妊娠力

最最新
情報

取材・文／佐田節子 撮影／松原敬子 イラスト／sino 図版イラスト／川野郁代 デザイン／平田 毅

35歳以降は妊娠・出産力が急降下！



「産める私」の作り方、紹介します！
果たして妊娠力は何で決まる？


「いつか……」。「そろそろ」。「今すぐ欲しい！」。切迫度は人それぞれですが、多くの女性が願う人生最大のイベントが、妊娠出産。美的クラブへのアンケートでも、「女に生まれた醍醐味」(39歳)、「女の人生でいちばん大変なことだけど、女の人生にいちばんの幸せを与えてくれるもの」(26歳)など、産むこと、母になることへの熱い思いが目立ちました。でもその一方で、意外に多かったのが「私、本当に妊娠できるのかしら」という声。最近では卵子の老化といった言葉もよく聞かれ、不安を募らせている女性が多いようです。

「産みたい私」は「産める私」になれる？


「産める私」の作り方について伺ったのは

- 

銀座玄和堂診療所 (東京都中央区) 院長
寺師碩甫先生

てらし ひろとし／専門は漢方治療。東海大学医学部卒業。東京通信病院麻酔科、呼吸器科を経て、'88年から銀座玄和堂診療所で診察。日本漢方振興会理事。著書は「不妊は漢方で治せる」(河出書房新社)。
- 

梅ヶ丘産婦人科 (東京都世田谷区) 院長
辰巳賢一先生

たつみ けんいち／不妊治療が専門。京都大学医学部卒業。同大学院医学研究科修了。米国コーネル大学留学。1万人以上の妊娠に成功。著書は「不妊治療がよくわかる本」(日本文芸社) など。
- 

東邦大学医療センター大森病院 (東京都大田区) 産婦人科准教授
片桐由起子先生

かたぎり ゆきこ／専門は生殖医療、臨床遺伝。東邦大学医学部卒業。同大学院医学研究科修了。米国コーネル大学留学。東邦大学医学部講師などを経て、'12年から現職。